

北八下校区
第5号
(2021年度版)

元気っ子だより

発行：八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会



やしモン♪大泉緑地の秋を満喫！（広報誌編集委員 北口 崇 撮影）

八下中学校区
青少年健全育成協議会

会長 山田武治

平素より本協議会の活動にご理解ご協力をいただき誠に有難うございます。今年度も残念ながら新型コロナウイルスによる影響を受け、本協議会の活動はほとんど行うことができておりません。このコロナ禍は、人とふれあう時間を奪われ、一期一会の大切さを、人が人を想う尊さを改めて実感させられた時であると思います。

私ども協議会一同は、今後も人・子どもたちに寄り添い、未来につなげていく校区へと発展させていきたいと考えております。

北八下校区自治連合会

会長 藤木耕造

平素より本校区活動の推進にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度同様に、通常の行事を行うことができませんでした。国によります新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されました。一人でも多くの皆様に接種していただき、多くの行事に安心してご参加いただきたく思います。

自治会員の皆様には、今後もお一層の団結と絶大なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

北八下校区

あれこれ



やしモン♪

やしモン♪と大泉緑地へ



紅葉がはじまる11月初旬にやしモン♪が大泉緑地の散策に行きました。

毎年見とれるほどに綺麗なイチヨウ並木からスタートして、わんぱくランドで遊んでから、中央休憩所で写真撮影！大泉池を一望できるはすみ橋で休憩しながら、海遊ランドでタコと一緒にパシャリ！最後は冒険ランドの石の滑り台で大はしゃぎ！



中央休憩所で、ひと休み



石の滑り台で大はしゃぎ



タコとやしモン♪

皆さんも、楽しいところが沢山ある大泉緑地を満喫してください！新たな発見を求めてやしモン♪は今日も色々な所にいつてきまあす！

(広報誌編集委員 松田大佑)

田んぼアート

2年ぶりに開催



2年ぶりとなった田んぼアート。

3種類の古代米で描くつもりでしたが、保存が悪かったのか準備がまらなかったのか、もみ種の発芽に失敗して2種類での田植えとなりました。



古代米で描いたやしモン♪

そのうえジャンボタニシに苗をかなり食べられてしまい、どうなることかと心配しましたが、今年は天候に恵まれ夏以降順調に育ち稲穂が綺麗に黒や紫に色づいてくれました。

ドローンからの映像では、所々地肌が見えてますが、何とかやしモン♪の笑顔と「絆 北八下」の文字を稲穂で描くことができました。

(広報誌編集委員 澤田佳知)

校区探検

小学3年生「石田金物」へ



ぼくは、町たんけんで石田金物に見学に行きました。お店には金ぞくいがいのものもたくさんおいでありました。じゅう電ドライバードくぎをうたせてもらいました。とても重かったので、びっくりしました。草かりきも見せてもらいました。

お店の人は、みんなやさしくて、お客さんによるこんでほしいと言



くぎをうつ体験をしました

っていました。ぼくも大人になった時に、こんなふうにお仕事をがんばろうと思いました。

(3年1組 戸摩哲将)

ふくし交流の集い

福祉委員会の活動



12月12日、北八下小学校で北八下校区自治連合会・福祉委員会主催の「ふくし交流の集い」が開催されました。「ふくし朝市」では運動場特設テントで白菜・キャベツなど19種類の野菜、富有柿・みかんなど4種類の果物、葉ぼたん・シクラメンなど3種類の花を市価の半額から7割位の価格で販売し、多くの方に安く新鮮な品物を購入いただきました。また、運動場特設ステージでは演歌歌手の「大原かずみ歌謡ショー」、「ふくし無料相談会」のコーナーでは北堺警察署生活安全課による特殊詐欺防止啓発や校区内の福祉施設の周知PRが行われました。



ふくし朝市の風景

(広報誌編集委員 阪本昌英)

各種団体紹介

民生委員・児童委員の活動



「民生委員」は民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員ですが、無報酬のボランティアです。社会福祉の増進のために地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・支援活動を行っており、児童福祉法に基づいて「児童委員」も兼ねているので、妊娠中の心配事や子育てに関する相談や支援も行っています。

核家族化が進み、地域社会の繋がりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人、障害者や高齢者が孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。

そこで、地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住



委員長の浅田さん



毎月の民生委員会の様子

民と行政や専門機関を繋ぐパイプ役を務めます。

北八下校区では、主任児童委員を含め10名の方が、日々の個別相談・支援はもちろん、子育てサークルや色々な地域行事に携わっています。

委員長の浅田治美さんは「誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、身近な相談相手として支援活動しています」とおっしゃっています。

民生委員には守秘義務があり、秘密は守られますので気軽に相談されてはいかがでしょうか？

(広報誌編集委員 網野尋昭)

これは何？

校区内のどこに？



写真に写っている銘板は校区のどこにあつて、何が書かれているかご存じですか？
答えは、5面の下欄の記事をご覧ください。

(広報誌編集委員 増田康夫)



どこでしょう？



中央にある茶色の銘板は何？

「北八下校区あれこれ」次面につづく

祝！新成人

はばたけ やしもつ子



1月10日に成人式が堺市産業振興センターで行われました。北八下校区からも大勢の新成人が参加し、新たな門出に希望を抱きながら、友人たちと久しぶりの交流を楽しまれました。

(広報誌編集委員 北口 崇)



新成人おめでとうございます

八下中卒業生紹介

齊藤大悟さん



教育実習中の齊藤さん

やしモン♪の生みの親の齊藤大悟さんを紹介します。

中学2年生当時、校区キャラクター募集に出品されたデザインはダントツで校区民の支持を集め、やしモン♪が誕生しました。

和歌山大学教育学部に進学され、昨年秋季には母校の八下中学校で教育実習を終え、予定では2023年春から中学校の社会科教諭として教壇に立たれます。

「生徒に慕われる、おもしろい授業が出来る先生になりたい」と抱負を語られていて、今後の活躍を期待したいですね！

ガンバレ！やしモン♪先生！！

(広報誌編集委員 網野 尋昭)

子育てサークル

南花田と野遠に



北八下校区内には2つの子育てサークルがあるのをご存じでしょうか？ 南花田の「ぷちつとまと」と、野遠の「ちびっこペンギン」です。

「ぷちつとまと」は原則として毎月第2木曜日の午前10時30分から正午まで南花田町会館（現在は大泉緑地の海遊ランド付近）で、また「ちびっこペンギン」は原則として毎月第1・3木曜日の午前10時から正午まで野遠町ちびっこ老人憩いの広場内の幸寿荘（現在は休止中）で、それぞれ0歳から未

就園のお子さんと保護者を対象として開催しています。

子育てサークルでは、お母さん同士がおしゃべりしたり、保健師さんからの子育て情報の提供、子育てアドバイザーさんとの遊び、季節に応じた行事を行ったりしています。参加していたお母さんは

「ここは保護者同士の情報交換と、育児の気分転換の場となっていました」とおっしゃっていました。

子育て中の保護者の方、一度ご参加されてはいかがでしょう。日程や会場などの詳細は、北区役所子育て支援課におたずねください。

(広報誌編集委員 隅谷 俊紀)



「ぷちつとまと」に集まった親子



「ちびっこペンギン」で笹飾り作り

八下中クラブ紹介

水泳部の経験



僕が部長をつとめる水泳部はとても自由な感じの部活動です。水泳部は、夏は二時間ほど泳いで練習は終わりますが、その後にトレーニングとして、バレーボールなどをすることもあります。先生も一緒にしたり、他のクラブと合同でトレーニングをしたりできてとても楽しいです。冬など、プールに入れないときは、陸上トレーニングをしています。陸上トレーニングや、プールサイドでのランニング、メデイシンボールを投げた



プールサイドでのトレーニング



大泉緑地を走る水泳部員

りするなどのことをします。冬の陸上トレーニングでは、夏の水泳にそなえて体力を中心にきてえています。この水泳部は上下関係のない部活動にしようと心がけています。上下関係をなくすことで、より自由な部活にしたいからです。この水泳部は、僕が入ったときから先輩もおもしろくてとても楽しかったから、僕も、先輩が楽しんで部活動をおくれるような、そんな部活動にしたいです。そして自分も楽しい部活をおくつていきたいです。

(2年1組 林田幸大)

マリリンの家



24時間テレビへの募金

子ども食堂・学びの場・ママちゃんカフェなど、子どもだけではなく老若男女を対象に様々な活動を行っています。8月21日・22日、日本テレビ系列「24時間テレビ『愛



桂文五郎さんによる落語

また、10月18日、桂文五郎さん(北八下小学校OB)と月亭遊真さんによる落語会が3回開催され、参加者は笑いと元気をいただきました。

(広報誌編集委員 阪本昌英)

は地球を救う』の募金活動に参加されました。今回で3年目になり、ボランティアの皆さんと子どもたちが募金を呼びかけ、約22万円を24時間テレビに届けられました。

これは何?の答え

「心のわがまち」の銘板

野遠町の八坂神社の境内に設置されている「心のわがまち」の銘板です。

八坂神社は、江戸時代に須佐鳴^{すさの}の命をお祀りしていましたが、明治後期に金岡神社に合祀されました。1956(昭和31)年に金岡神社から祭神を迎え入れ、この地に祀られました。

地域の歴史と神社の由来が明記



新調された「心のわがまち」の銘板

されています。2019(令和元)年に銘板は新調されました。

(広報誌編集委員 増田康志)



英語教育モデル校として



2019年4月、堺市教育委員会より「子ども堺学・社会に開かれた教育課程推進校」という教育モデル校に認定されました。そして英語教育モデル校として英語講師とサポーターが派遣

され、英語授業の充実が図られています。

校区内の学校園ではどのように英語教育がなされているのか、学校園長にお聞きしました。

(広報誌編集委員 古場 俊)



北八下幼稚園

「One, Two, Three ...」「Hello」など耳にしたことのある英語を発する子どもがいます。また、英語や国旗・外国の絵本を手取る子どもも見られます。本園児は、学期に一回、北八下校区の特色ある取組として、中学校英語科教員とともに「英語遊び」をしています。野菜や果物・色・動物・体の部位・じゃんけん・挨拶など、ゲームや歌・絵本などを通して楽しみながら英語に触れています。

異言語・異文化に触れることが、多様な価値観に出会うきっかけになればと思います。

(北八下幼稚園園長 島原宏文)



英語遊びをする園児



北八下小学校

本校は、英語教育モデル校として「英語教育推進」の加配を受け、ネイティブスピーカーの配置と併用し、3年生以上の学年で外国語(活動)の授業を実施しています。

その一環として5年生で年間5回、タブレット端末を使用して「オンライン英会話」を行っています。最初は緊張した面持ちでしたが、フィリピンのセブ島の方と英語でやり取りをするうちに少しずつ緊張がほぐれ、最後には楽しみながら、「Like」の文型を使って、好きな色やスポーツなどを伝えることができました。

(北八下小学校校長 小塚 聡)



オンラインで会話する児童



八下中学校

日頃は、本校教育活動の推進にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。本校は、堺市教育委員会からオンライン英会話研究事業のモデル校に指定され、2年生の生徒が外国人講師とパソコンを使い、英会話を行う取組を行っています。実践的な英会話を通じて、コミュニケーション活動の充実を図っています。回数を重ねるごとに、講師の質問に対して、自分の思いを含めた返事ができるようになってきています。子どもたちの成長のため、今後もよろしく願っています。

(八下中学校校長 齊藤雅也)



モニターを通して会話する生徒





令和4年度末をもって閉園に 北八下幼稚園



69年間の沿革

昭和29年4月7日に本園を北八下小学校の一部、分園を南花田公民館を借用して北八下創立幼稚園（在籍173名）が創立されました。

昭和32年10月15日に堺市編入に伴い堺市立北八下幼稚園と改称し、元中学校舎や八坂神社（南花田）を借用し本園・分園として発展し、昭和45年には、本園163名・分園128名の計291名の在籍となりました。

平成元年4月に本



創立当時の分園



創立当時の本園

園が休園となり、通園バスがさい。

平成元々6年度まで運行されました。

平成3年4月に本園が廃止され分園に統合されました。

平成7年度、堺市は20園か

北八下幼稚園の教育

教育目標は、「身近な自然

や人と触れ合い、豊かな生活をつくりだす子どもの育成」

と掲げ、具体的には①元気で

合し、1年保育から2年保育になりまし

た。このように

地元の幼児教育の発展に寄

与してきまし

たが、令和4年度をもって

閉園となりま

す。

堺市幼児教

育基本方針の改定は、堺市のホームペー

ジをご覧ください

に優良園と努力園に平成15

17年度に表彰されました。

また、親子同一体験を重視

した保護者の行事への協力な

ど優れたPTA活動が評価さ

れ、文部科学大臣より平成21

年度に表彰されました。

工作は、全員が創造性に富

んだ作品に仕上げ、劇遊びの

会では、お話・小道具・風景

画まで園児の話し合いで協力

して創り上げてきました。

北八下幼稚園は、自ら学ぶ

意欲や学ぶ力を養う教育を行

ってきました。



地域の方とお餅つきをする園児

（広報誌編集委員 樺田 博）



竹内街道ウォーク(完結編)



今回はやしモン♪と一緒に竹内街道を西に向かい、起点とされる大小路をめざしました。



仁徳天皇陵古墳を参拝！

八下中学校をスタートし、まずは平安時代の宮廷絵師の巨勢金岡

を祭神とされる金岡神社で記念撮影。向陵中町の交差点にある「緑の一里塚」から大阪中央環状線沿いに歩き、世界文化遺産に登録され世界三大墳墓とされる仁徳天皇陵古墳をやしモン♪と参拝しました。ビジターセンターで勉強した後、一路西へ。竹内街道と西高野街道とが分岐する榎元町の交差点には、高野山女人堂までの現存する13基の里石の一つが建てられており、古の旅人を案内していたことが偲ばれました。

堺の偉人で、茶道の祖千利休と情熱の歌人と謝野晶子を顕彰する「さかい利晶の杜」にも立ち寄りやしモン♪と一緒に見学しました。その

後、堺で最も古いとされる山之口商店街を通り竹内街道と西高野街道の起点である大小路に到着（写真下）。三回にわたるウォークで竹内街道を完歩しました。

帰りは、通称ザビエル公園（戎公園）を起点とする長尾街道に入り、求肥にニッキ（シナモン）を練りこんだ堺名産の肉桂餅を食しながら、一路南花田をめざし東に歩を進めました。途中、七五三で賑わう方違神社では、やしモン♪が子どもたちに人気で一緒にカメラに収まっていました。



竹内街道を完歩！

昼食を挟み約8時間かけ17kmの旅程でしたが、お天気

に恵まれ秋空のもと紅葉を楽しみながら、古人が歩いた街道をやしモン♪と完歩することができました。

（広報誌編集委員 澤田佳知）

編集後記

今年度も昨年度同様、行事ごとが制限される1年ではありましたが、無事に第5号を発行することができました。「今まで当たり前のようにしていたことが、実は当たり前ではなく、有難いこと・尊いことであった」。そんなことに気づかされたこの2年間でもありました。来年度こそは「ふつうに」行事ができる、そんな1年であることを願うばかりです。（広報誌編集委員長 隅谷俊紀）

『北八下校区 元気っ子だより』 第5号（2021年度版）
2022年（令和4年）3月1日発行（発行部数3500部）
発行：八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会
事務所：堺市立八下中学校内
〒591-8012 堺市北区中村町977-20 電話 072-252-0412
（協賛：北八下校区青少年指導員会）

広報誌編集委員
増田康夫 山田武治
網野尋昭 隅谷俊紀
阪本昌英 北口 崇
樺田 博 古場 俊
澤田佳知 松田大佑